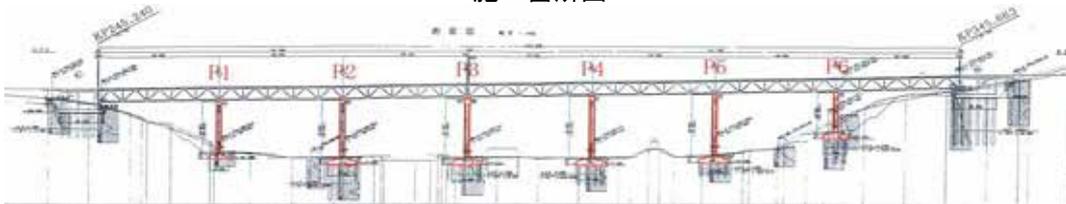


橋脚ひび割れ補修

高速自動車道の高架橋耐震補強工事において、補強部近辺の幅0.2mm未満のひび割れ補修に、CS-21工法が採用され施工を行った。

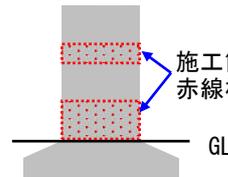
事前調査において、ひび割れが鉄筋にまで到達している部分もあり、耐久性の低下が懸念されたため、対策として防錆材を塗布後、CS-21の塗布と、微粒子セメントのすり込みによる補修を行った。（施工箇所：P1～P6、施工面積：約1,100m²）

施工箇所図

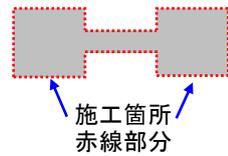


橋脚全景

施工箇所：側面図



施工箇所：断面図



施工手順

- ① 下地処理
- ② 防錆材塗布 (200g/m²)
- ③ 湿潤散水 (150g/m²)
- ④ 養生期間 (4日間)
- ⑤ CS-21塗布 (150g/m²)
- ⑥ 湿潤散水 (150g/m²)
- ⑦ 微粒子セメントすり込み
- ⑧ CS-21塗布 (150g/m²)
- ⑨ 湿潤散水 (150g/m²)



防錆材塗布状況



CS-21塗布(1回目)状況



微粒子セメントすり込み状況



CS-21塗布(2回目)完了状況